

上総ゆうゆうの郷 イベントは盛大に

副施設長 三國 蔵人



感染防止対策として、手洗いと手指消毒、マスクの着用、共同居住ゾーンの立ち入り制限と他ホームとの交流中止、ひとつユニークトを感染者発生時の隔離ユニークトとして対応しています。

以前よりユニークト体制をとっていますが、さらに限られた環境となつたことで、日常生活における利用者のストレス発散や活動、生活支援の工夫が必要となり職員の苦労が浮かんでもあります。



傘寿、古希のお祝い！

一月に女性の利用者が八十歳、九月に女性利用者と十月に男性利用者が七十歳を迎えた♪

朝のラジオ体操後のお知らせ放送では、ゆうゆうの郷全体からの拍手と「おめでとう」「おめでとう」との声があがりました♪

令和二年三月二十八日より上総ゆうゆうの郷では、新型コロナウイルス文頭でも挙げましたが、以前は誕生日外出など外出することが多かつたた

め、ユニークト内でのお祝いが、より盛大なイベントとなっています。

イベントといえば、全般的におやつ作りやクッキングが多く見られています。コロナの影響なんか、毎月、男性職員が自宅で料理の腕を上げて振る



他にも、ハロウィン、クリスマス、正月、ひなまつり…日本には様々なイベントがあるのだなと感じた一年でした。日中活動では、散歩やドライブを中心で、日差しを浴び、四季を身体で感じる毎日です。新型コロナウイルスによる不自由な環境でどう支援していくか…でも、だからこそ得られたモノもあります。この経験を活かして、不自由な時間を笑顔に変える支援をしていきたいと思います。

